



<来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位：億円)

日付	資金需給予想			主な要因	オペ期日		オペスタート		イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足						
6/12 (月)	トシ	▲ 100	▲ 100	国庫短期証券 発行・償還 (3M・6M)	補充供給	+ 32,200	国債買入	+ 15,600	
6/13 (火)	トシ	+ 5,000	+ 5,000						米：FOMC (1日目) CPI (5月)
6/14 (水)	トシ	▲ 5,000	▲ 5,000	流動性供給 源泉税揚げ					米：FOMC (2日目) PPI (5月)
6/15 (木)	トシ	+ 73,000	+ 73,000	年金定時払い 個人向け国債 発行・償還					日：金融政策決定会合 (1日目) 貿易収支 (5月) 欧：ECB政策金利発表
6/16 (金)	▲ 2,000	+ 4,000	+ 2,000						日：金融政策決定会合 (2日目) 欧：ユーロ圏CPI (5月)

<インターバンク>

日銀当座預金残高は、週初534兆4,300億円から始まった。その後国債発行があったものの大きな変動はなく532兆1,600億円(速報)で越过了。

無担保コールON物加重平均金利は週初▲0.068%から始まった。先週末2日の税・保険揚げ、普通交付税交付金の交付を経て、積みも終盤入りしたことで積み最終日に向けた大手行・地銀業態の積極的な調達が見られた。そのため、6日以降は上昇基調となり、6日から8日まで▲0.058%～▲0.039%で推移した。週末となる9日においても資金調達ニーズは堅調であり、同金利は▲0.028% (速報) とさらに上昇した。

ターム物は1～2W物を中心に▲0.050%～▲0.030%程度の水準で出が見られた。

来週の予定は、国内では15日、16日に日銀金融政策決定会合がある。海外では13、14日にFOMC、15日にはECBがある。

[無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	▲0.087 ~ 0.001
1M	▲0.020 ~ 0.020
2M	0.010 ~ 0.050
3M	0.000 ~ 0.130
6M	0.000 ~ 0.150

<レポ>

足許GCは週初▲0.11%の出合いから始まり、週を通して▲0.100%～▲0.09%のレンジで推移した。短国の発行が重なった9日の取引では▲0.08%近辺の出合いが見られた。SC取引は2年438～448回債、5年149～158回債、10年350～370回債、20年180～184回債、30年65～78回債、40年13～15回債などに引合いが多く見られた。

[オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	▲0.050 ~ 0.000
CP 3M	0.000 ~ 0.010

<CP>

今週の入札発行総額は約6,100億円で、週間償還額(約4,000億円)を上回った。発行市場は、化学や電気機器、鉄鋼等の複数業態で大型案件が見られ、発行残高が積みあがった。発行残高は先週末の25兆4,454億円から8日時点で25兆7,708億円と増加した。発行レートはゼロ%から小幅なプラス圏での出合いが中心であった。

来週の週間償還額は、約7,600億円となっている。発行市場は、四半期末に向けた有利子負債圧縮の動きもあり、償還超となることを見込む。発行レートは、ゼロ%近辺での出合いが中心となることを予想する。

<TDB>

6月8日の6M (1161回債) の入札は、最高落札利回り▲0.1563% (前回債▲0.1526%)、平均落札利回り▲0.1683% (前回債▲0.1684%) となり、9日の3M (1162回債) の入札は、最高落札利回り▲0.1663% (前回債▲0.1603%)、平均落札利回り▲0.1792% (前回債▲0.1703%) となった。

来週は15日に3Mの入札が予定されている。